

焼津市スマートシティ推進協議会 令和7年度 第2回運営委員会

日時：令和7年10月20日（月） 15時～16時30分
会場：焼津市役所4階 応接室

開会

時間	アジェンダ
15:00	開会
15:05～15:09	報告事項 1 ・新規会員の紹介
15:09～15:49	報告事項 2 ・事業進捗について
15:49～15:56	報告事項 3 ・モニター制度について
15:56～16:14	協議事項 ・R 8 事業推進に向けて
16:14～16:29	意見交換（全体を通して）
16:30	閉会

報告事項 1 新規会員の紹介

報告事項 1 新規会員の紹介

正会員41団体（令和7年10月20日時点）

No.	正会員 企業・団体名
1	焼津市
2	一般社団法人焼津市観光協会
3	大井川商工会
4	アクティブおおいがわ
5	大井川農業協同組合
6	小川漁業協同組合
7	社会福祉法人焼津市社会福祉協議会
8	焼津漁業協同組合
9	焼津市魚仲水産加工業協同組合
10	焼津市自治会連合会

No.	正会員 企業・団体名
11	焼津商工会議所
12	焼津市商店街連合会
13	焼津ホテル旅館組合
14	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
15	アジア航測株式会社 静岡支店
16	一般社団法人トリナス
17	一般社団法人UDCKタウンマネジメント
18	SBK協同組合
19	NTT西日本株式会社 静岡支店
20	NTTビジネスソリューションズ株式会社

報告事項 1 新規会員の紹介

正会員41団体（令和7年10月20日時点）

No.	正会員 企業・団体名
21	NPO法人 e-Lunch
22	株式会社イシダテック
23	株式会社いちまる
24	株式会社Wellmira
25	株式会社SBS情報システム
26	株式会社S'PLANT
27	株式会社サンロフト
28	株式会社静岡銀行 焼津支店
29	株式会社Geolonia
30	株式会社JIN

No.	正会員 企業・団体名
31	株式会社スマートホテルソリューションズ
32	株式会社ゼンリン 静岡営業所
33	株式会社橋本組
34	株式会社吉村
35	xID株式会社
36	合同会社うさぎ企画
37	しずおか焼津信用金庫
38	ナカタケテック株式会社
39	Beginners Tech株式会社
40	巻田油業株式会社

報告事項 1 新規会員の紹介

正会員41団体・パートナー会員8団体（令和7年10月20日時点）

No.	正会員 企業・団体名
41	山福水産株式会社

No.	パートナー会員 企業・団体名
1	一般社団法人SDGsデジタル社会推進機構
2	株式会社ウェザーニューズ
3	株式会社静岡ビジネス社
4	株式会社電通総研
5	<u>株式会社はんぽさき</u>
6	国際航業株式会社 静岡支店
7	<u>東京海上日動火災保険株式会社</u>
8	富士通Japan株式会社

新規パートナー会員



報告事項 2 事業進捗について

報告事項 2 事業進捗について

運営体制

- デジタルを活用し、分野横断的な視点で地域課題解決に取り組み、焼津市ならではの魅力や市民生活の豊かさ、利便性の向上を目指し、持続可能な都市を実現するために「焼津市スマートシティ推進協議会」を設立しました。
- スマートシティ発展期への移行を目指し、地域課題解決のための協議の場づくりに挑戦。ワーキンググループを設置し、関係者が協力して取り組みを進めています。

【創設期：2022・2023】

官民連携データ活用のための枠組みづくり
→ 焼津市スマートシティ推進検討会
(データ連携基盤の構築)

【発展期】

官民連携のオープンイノベーション
→ 焼津市スマートシティ推進協議会
(協議の場づくり)

【成熟期】

スマートシティYAIZUの実現
(地域課題解決に向けたまちづくり)

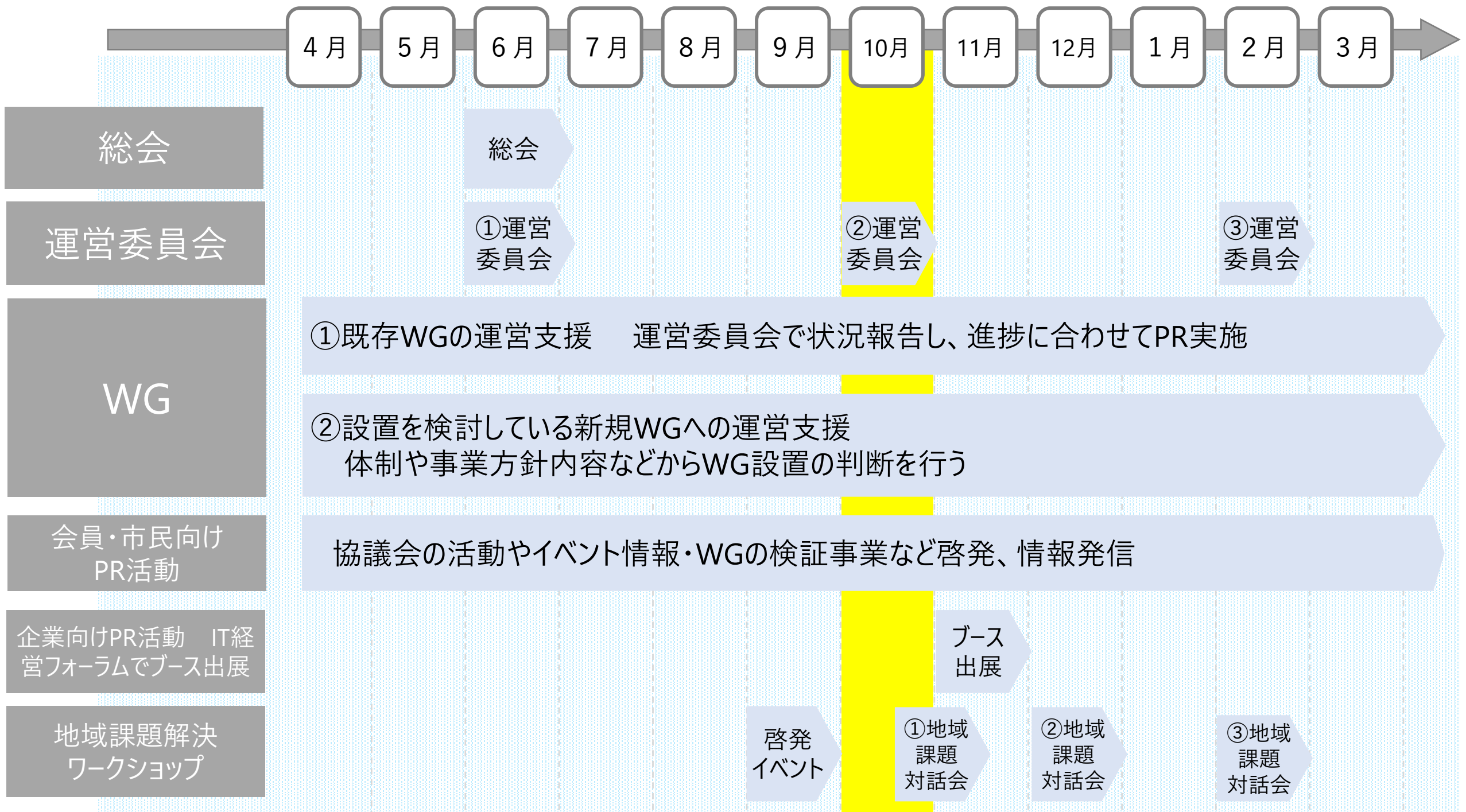


焼津市スマートシティ推進協議会 推進体制

総会	<ul style="list-style-type: none"> 協議会運営の議決機関 原則、年1回開催 正会員、パートナー会員で構成
運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の事業を円滑に運営するための組織 総会に付すべき事項の審議や、ワーキンググループ設置、事業等について協議する
ワーキンググループ	<ul style="list-style-type: none"> 個別事業の実施、実装に向けた検討を行う 正会員、パートナー会員を中心に組織。
地域課題解決WS	<ul style="list-style-type: none"> 焼津市スマートシティの取組を知ってもらう機会 WG組成前の事業の種(シーズ)を生む場

報告事項 2 事業進捗について

運営体制 令和7年度協議会スケジュール



報告事項 2 事業進捗について

総会及び運営委員会

第1回運営委員会

開催日	令和7年6月20日（金）
場所	焼津市役所4階 応接室
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 運営委員の選任（報告） 3. 委員長選出 4. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規会員の紹介 ・ 令和6年度事業報告 5. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度事業計画 ・ 令和7年度WGの進捗報告 ・ 令和7年度WGの立ち上げについて 6. 閉会
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和7年度事業計画 ➤ 令和7年度WGの進捗報告 ➤ 令和7年度WGの立ち上げについて
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 運営委員 12名 ➤ WG関係者 4名 ➤ 運営委員関係者 1名



報告事項 2 事業進捗について

総会及び運営委員会

総会

開催日・場所

令和7年6月27日（金）焼津市役所1階 会議室1B

実施内容

1. 開会
 - ・ 協議会会長 飯塚真也（焼津市副市長）
2. 第一部
インプットトーク
「スマートシティ実現に向けたスマートマップの役割と期待」
 - ・ 内閣府 科学技術・イノベーション 推進事務局参事官
(重要課題担当)付 上席政策調査員 鈴木宏実氏
プレゼンテーション
「各地のスマートマップ活用事例」
 - ・ 株式会社Geolonia 取締役COO西川伸一氏
パネルディスカッション
「高松・焼津の事例に見るスマートマップ活用の現在地」
 - ・ 鈴木氏、西川氏、焼津市CDO瀬戸伸亮氏
3. 第二部 議事
 - ・ 報告事項1 運営委員の選任
 - ・ 報告事項2 新規会員の紹介
 - ・ 報告事項3 令和6年度事業報告
 - ・ 協議事項1 令和7年度事業計画
4. 写真撮影
5. 閉会

決定事項

令和7年度事業計画

参加者

正会員25社、パートナー会員3社、聴講者16名



報告事項 2 事業進捗について

地域課題解決をテーマにしたイベントを計画

オープンデータ
地域
ワークショップ
(9月15日)

第1回
地域課題解決
ワークショップ
(10月22日)

第2回
地域課題解決
ワークショップ
(12月19日)

第3回
地域課題解決
ワークショップ
(2月4日)

スマートマップYAIZU
周知イベント
(静岡県統計活用課と
共催)

オープンデータの収集

秋の港湾イベントに使用できるデジタルマップ作成のため、街歩きイベントを実施した

皆が考えている地域
課題を語り合おう！
(目線合わせ・問題定義)

何が課題で、
何を解決するべきかを絞る

背景情報を共有しつつ、課題ブレストを行い、解決のための問を作る

地域課題に対して
どういった取組が
有効か考えてみよう！
(仮説検討)

実現するイメージを描く

地域課題に対しての、フローチャートを作成する

考えた取組が
どうしたら実施できる
か計画を作ろう！
(実現性検討)

次に進めるための
改善点整理

気づきを次回へ持ち越し、共有する

報告事項 2 事業進捗について

地域課題解決をテーマにしたイベントを実施

オープンデータ地域ワークショップ

開催日

令和7年9月15日（月・祝）

場所

焼津市役所 1 階 1B

実施内容

静岡県統計活用課との共催事業

○講師：SBS情報システム 原田様

○成果物：

5 チームに分かれ、街歩きし、各テーマに沿った地図をスマートマップ焼津を使い、作成した。

- ・ 焼津に来たら立ち寄ってマップ
- ・ 焼津胃袋わし掴みマップ
- ・ 街歩きに役立つ休憩マップ
- ・ 魚フェス来場者向け駐車場マップ
- ・ 小泉八雲の周辺をめぐる

○今後の動き：

ワークショップで作成した地図を、魚フェス等の市内イベントの来場者向け地図として、スマートマップ焼津へ掲載し活用する。

参加者

22名（内、焼津中央高校生11名）



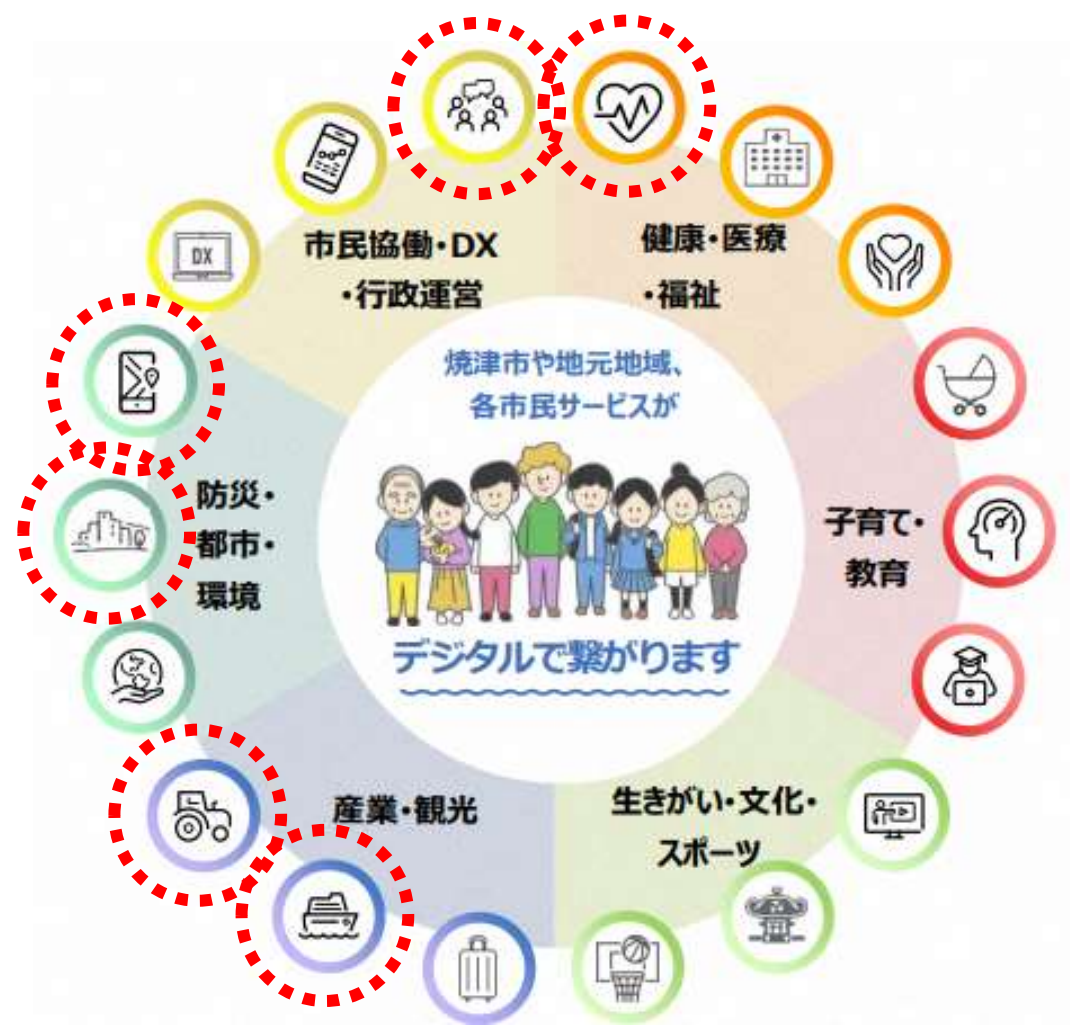
3.マイマップの紹介



3.マイマップの紹介

報告事項 2 事業進捗について

ワーキンググループ（WG）活動



参照：スマートシティYAIZU推進方針

No.	WG名	分野	設置日
1	地域事業者デジタル活用支援 WG	産業・観光	R6.12.23
2	水産加工品物流DX WG	産業・観光	R6.12.23
3	交通安全マップ利用促進 WG	防災・都市・環境	R6.12.23
4	自治会DX WG	市民協働・DX・行政運営	R7.6.20
5	地域防災情報ネットワーク推進 WG	防災・都市・環境	R7.6.20
6	地域「健幸」共創 WG	健康・医療・福祉	R7.6.20

報告事項 2 事業進捗について

01_地域事業者デジタル活用支援WG

主体者

- 焼津商工会議所
- しずおか焼津信用金庫
- 株式会社サンロフト

認識している 地域課題

- 地元中小企業や個人事業主の多くが、経営のデジタル化や業務効率化に課題を抱えている
- 地元中小企業や個人事業主の多くが、デジタル活用に既存のリソースや知識が不足している
- DXという言葉は知っているが、具体的に何からどのように取り組めばよいのか分からない



報告事項 2 事業進捗について

01_地域事業者デジタル活用支援WG 具体的な取り組み内容

解決策

具体的な活動内容

IT経営フォーラムの開催



対象者：地元中小企業、個人事業主、静岡県内外の希望事業者
実施内容：先進的なDX導入事例の講演
実施予定日：令和7年11月7日（金）
開催場所：焼津文化センター小ホール

アンケート調査



名称：「経営者向け DX・生成AIに関するアンケート」
対象者：焼津市内の一般事業者、一般企業
アンケート内容：市内事業者のDXへの取り組みの現状等
実施方法：焼津商工会議所・大井川商工会・焼津市LINE
（協力：焼津市商工観光課）
配布日：令和7年7月20日
回答期限：令和7年9月18日 合計148件（[集計結果](#)）



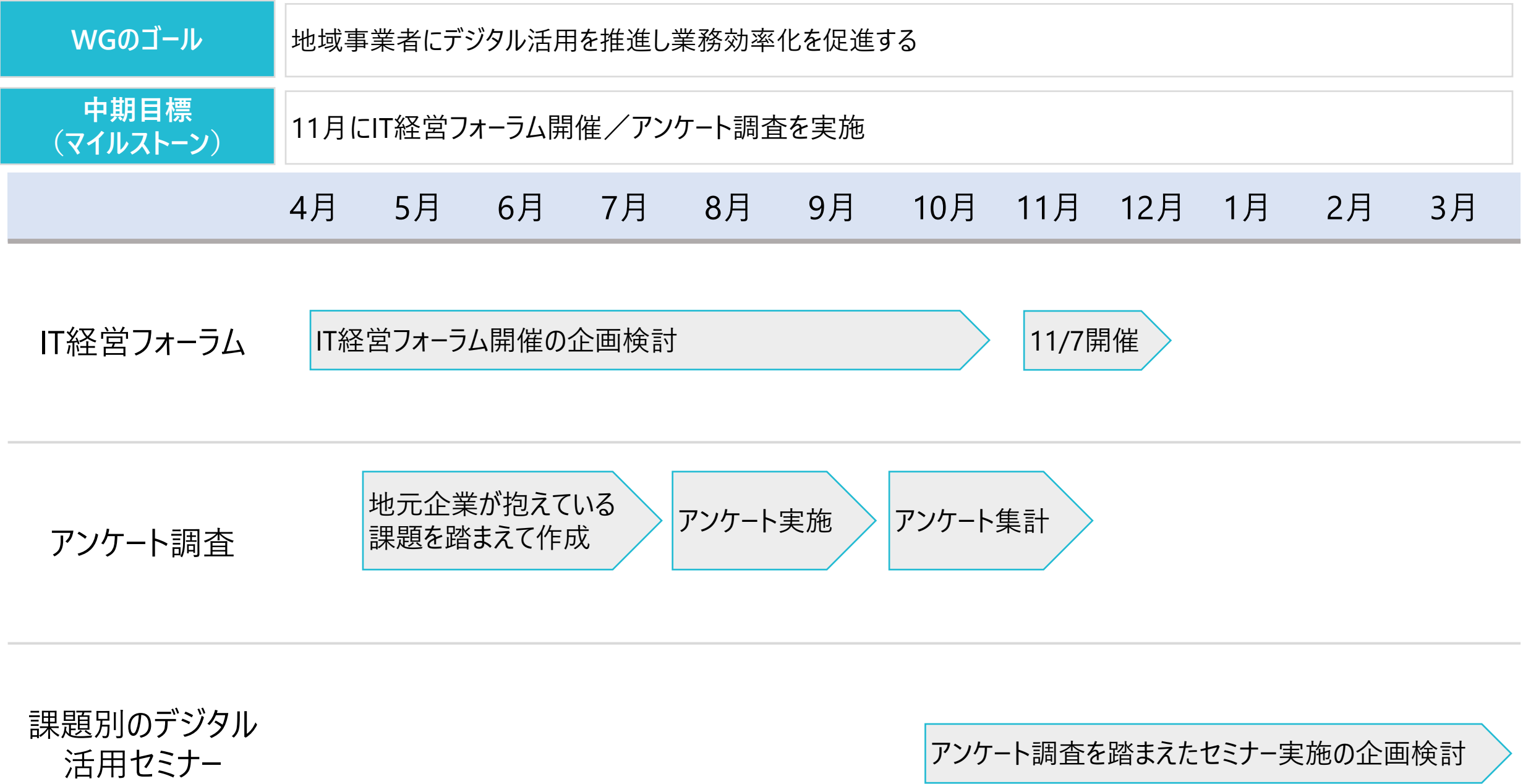
課題別デジタル活用セミナー の開催を検討



対象者：焼津市内の一般事業者、一般企業
実施内容：アンケート結果を確認後、対応内容等を検討

報告事項 2 事業進捗について

01_地域事業者デジタル活用支援WG 活動スケジュール



報告事項 2 事業進捗について

02_水産加工品物流DXWG

主体者

- SBK協同組合 (株)SIC LOGITEC、(株)カネトモ、(株)マルイリフードサプライ、(株)富士冷)
- 株式会社S'PLANT



認識している 地域課題

- DX化が進んでいない理由として各企業が独自のシステムを活用しており、その統一ができていないことが大きな原因となっている。
- 運送会社と倉庫会社の連絡が進んでいない。共用できるシステムを制作し、利用した方が明らかに効率的であり、現状の非効率を改善したい。

解決策

- C-Logi (クラウド型冷蔵庫在庫管理システム) システムの開発と、倉庫会社と運送会社間でのDX化を進める。
- C-Logiとは、「倉庫管理システム」「庫内管理システム」「寄託者WEBシステム」の3つの構成からなる。

報告事項 2 事業進捗について

02_水産加工品物流DXWG 具体的な取り組み内容

解決策

具体的な活動内容

(取り組み①)
倉庫・庫内管理システムの導入



実施内容：倉庫システムと庫内管理システムの開発は完了し、導入を開始する。
導入済み：令和7年4月 (株)焼津冷凍
令和7年6月 (株)富士冷
導入予定：令和8年4月頃県内企業（浜松）導入予定。

(取り組み②)
倉庫・庫内管理システムの説明会開催



対象者：倉庫会社
実施内容：システムの利活用説明会を実施
実施済み：令和6年10月 焼津市地区会員向け
令和7年 3月 静岡県倉庫協会向け
令和7年 4月 焼津漁業協同組合向け

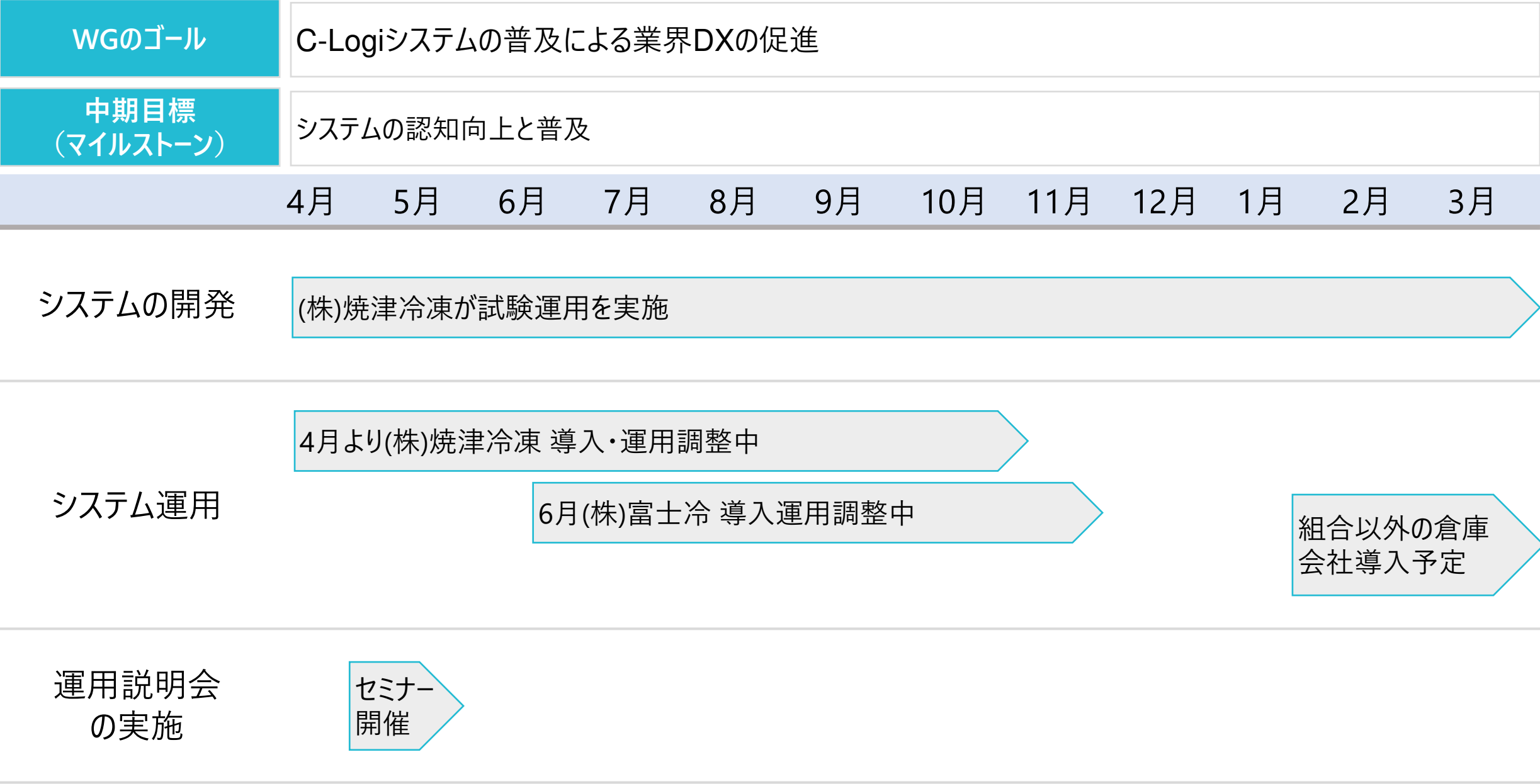
倉庫会社と運送会社のシステム連携



対象者：倉庫会社・運送会社
実施内容：C-Logiのシステムを活用した運送会社との連携
目的：荷主の入出庫オーダー簡素化。
運送会社の荷待ち待機時間の短縮。
リアルタイムでのオーダー情報の共有。

報告事項 2 事業進捗について

02_水産加工品物流DXWG 活動スケジュール



報告事項 2 事業進捗について

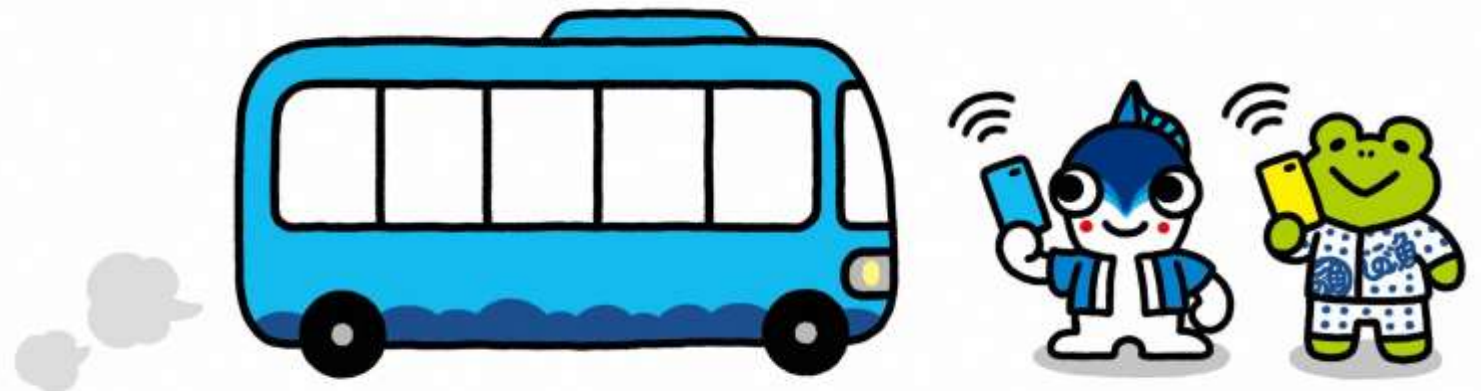
03_交通安全マップ利用促進WG

主体者

- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- 焼津市

認識している 地域課題

- 運転者の規範意識の低下による交通ルール無視や交通マナーの低下がみられる
- 焼津市内における交通事故発生状況は人身事故件数や負傷者数ともに増加率が県内ワーストワンであり、交通事故を削減し安全運転の意識を向上する必要性がある



報告事項 2 事業進捗について

03_交通安全マップ利用促進WG 具体的な取り組み内容

解決策

具体的な活動内容

エコドライブ・安全運転コンテスト

■実施内容

参加者は1か月間、テレマタグを付けて自動車を運転した。参加者にはアプリで安全運転スコアを提供し、安全運転を体感、テレマシステムによる事故軽減抑止効果を認知してもらった。

■参加者

焼津市内事業者68チーム、261名が参加。

■実施期間

7月1日～31日

■表彰式

10月27日 上位三社：巻田油業（株）、焼津市社会福祉協議会、（株）サンロフト

コンテスト終了後、参加者の走行データから、急ブレーキ等のヒヤリハット地点データを焼津市に提供する。

そのデータを「交通事故分析ダッシュボード」と融合し表示することで、交通事故削減、安全運転の意識向上につなげる。

安全運転マップデータをスマートマップに融合

焼津市の事業者さまへ

エントリー大募集！！

スマートシティ・ドライブコンテスト

新しい技術を使い、「安全運転」を体験できるコンテスト形式のイベントを開催します！
スマートフォンアプリにより、ゲーム感覚で楽しみながら客観的に自身の安全運転技術との確認が可能です。
スマートセーフティドライブにチャレンジいただくことで、人に優しいクルマ社会づくりに貢献します。
趣旨にご賛同いただける事業者様の積極的なご参加お待ちしております！

- 安全運転診断** 運転終了後、すぐに利用者へ運転状況をフィードバック
・走行毎のスコアリング・急ブレーキ、速度超過運転中のスマートフォン使用データ等を診断
・利用者の運転状況にあった安全運転のヒントをご提供
- 楽しく手軽に** スコアランキングやバッジ獲得でゲーム感覚を演出
専用タグとスマホだけで利用者の走行データを診断
・ダッシュボードへの専用タグ貼り付けとスマホが車中にあれば利用可能
- 上位チーム表彰** 上位チーム表彰式開催予定！
・1チーム3～5名で参加
・走行データの平均スコアが上位のチームを表彰（事業所名を公表予定）

①「Visual Drive」アプリのインストール ②車へタグを貼りつけ

安全運転のヒント バッジ獲得 スコアランキング ※CO2排出削減量

※当社独自のロジックにより、「安全運転」と標準的な運転の燃費を比較し、どれだけCO2排出量を削減できたかを算出し、アプリ上で表示します。（過去1か月間の削減量を表示）

<イベント概要>

コンテスト期間 2025年7月1日(火) ～ 2025年7月31日(木)

説明会 日時：2025年6月17日(火) ①9:00～ ②10:30～ ※2部制です。申込時にお選びください。
場所：焼津市役所本庁舎 1階1A会議室

対象者 市内事業者のみならず、市職員 ※詳細は裏面をご確認ください

参加費 無料（定員250名）

申込み 右記二次元コードを読み込み、申込フォームからお申込みください。

主催 焼津市 / あいおいニッセイ同和損害保険（株）

お問い合わせ 焼津市 行政経営部 政策企画課 原田・鈴木 TEL:054-626-2141 FAX:054-627-9334
あいおいニッセイ同和損害保険(株) 静岡支店 静岡第二支社 藤本 TEL:050-3460-8145

報告事項 2 事業進捗について

03_交通安全マップ利用促進WG 活動スケジュール

WGのゴール	交通安全の重要性を市民に広く周知し、マップを活用し啓発活動を推進する											
中期目標 (マイルストーン)	多くの企業・団体がコンテストに参加することを目指す											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エコドライブ コンテスト の実施		参加 企業 募集		7/1～ 7/30 コンテス ト開催								
			6/17 説明会					10/27 表彰式				
安全運転 マップデータを スマートマップに 融合	焼津市に安全運転マップデータを提供					スマートマップに データを反映			マップを活用した啓発活動 検討			

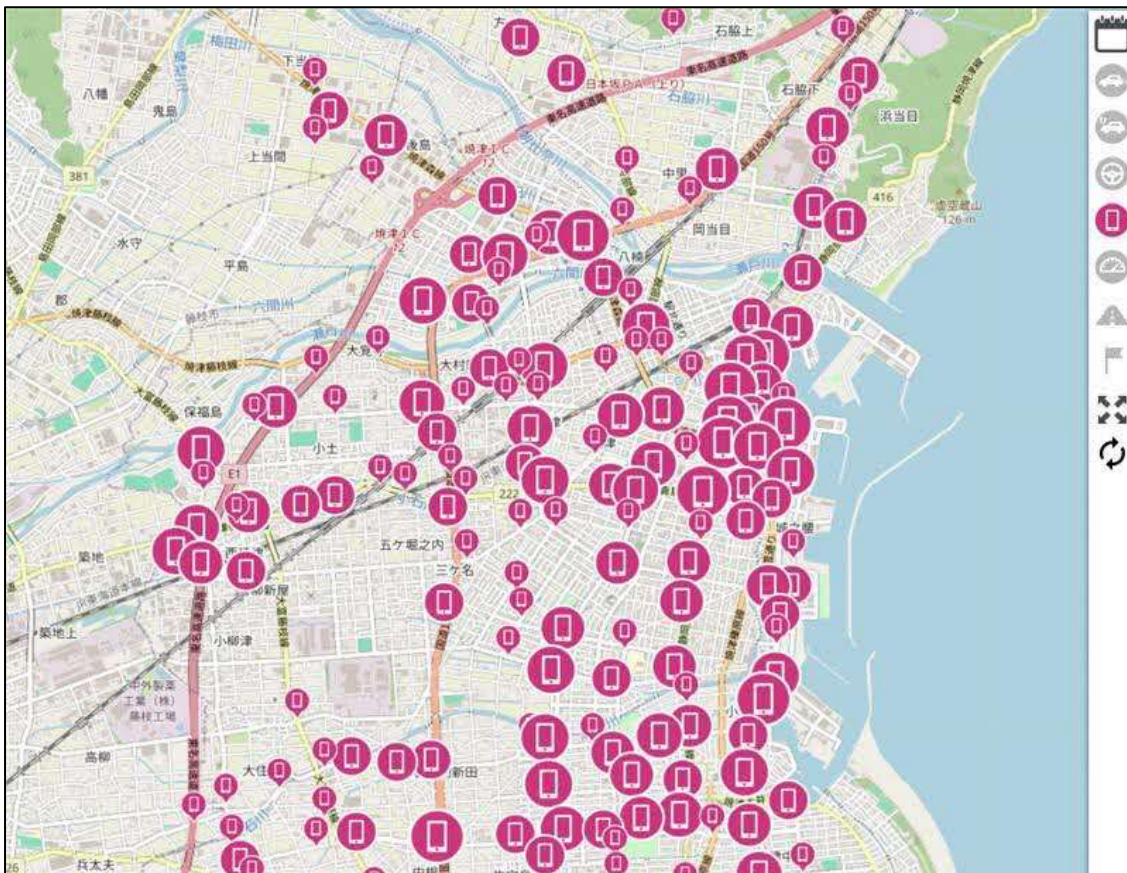
報告事項 2 事業進捗について

03_交通安全マップ利用促進WG 具体的な取り組み内容

◎テレマティクス技術を活用した交通安全マップ

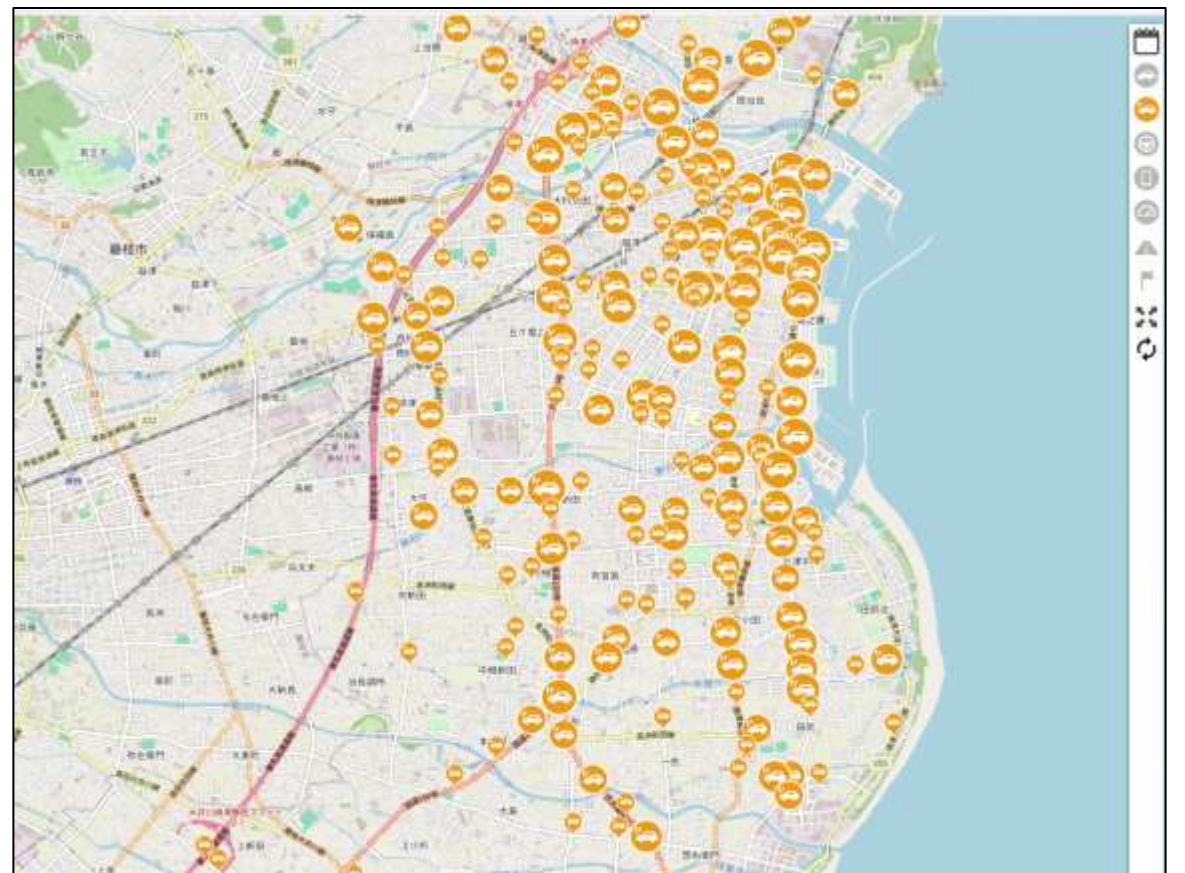
スマホ使用

中心市街地や交差点では運転中のスマホ使用が顕著に集中しており、特に主要交差点付近では高い頻度で検出されている。



急ブレーキ

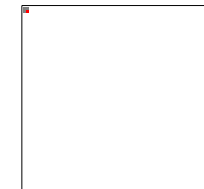
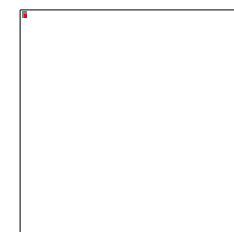
急ブレーキの集中地域はスマホ使用頻度の高いエリアと著しく重複しており、両者には強い相関関係が見られる。



テレマタグイベントにおける「安全運転によるCO2削減量」レポート

テレマタグイベントの開催、誠にありがとうございました。

走行データを用いて算出させていただきました「CO2排出情報」について、本レポートでご報告させていただきます。



算定対象期間：2025/7/1-7/31

算定対象車両：9台

走行距離※1

10812
km

燃料消費量
(総量) ※2

795.4 L

安全運転による
燃料節約量 ※3

27.9 L

CO2排出量
(総量) ※2

1912.3 kg

安全運転による
CO2削減量 ※3

61.7
kg-CO₂

※1 テレマテックスタグとVisual Driveアプリが接続されている間の走行距離を表しています。各種数値は、テレマテックスタグとVisual Driveアプリが接続されている間の走行データのみを対象に算出しています。
(何らかの理由により走行データが取得できていない場合、取得できていない期間の走行は含まれていません。)

※2 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の独自の算出方法による推定の排出量であり、実際の数値と異なる可能性があります。

※3 ・自動車メーカーが定める「標準燃費」と比較した場合の差分を表しています。(同じ走行距離で平均的な運転を行った場合と比較)

・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の独自の算出方法による推定の節約・削減量であり、実際の数値と異なる可能性があります。あくまで「参考数値」としてご確認ください。

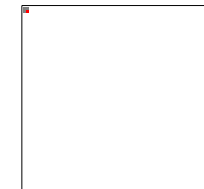
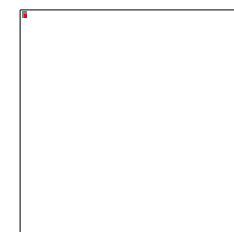
・エアコン等のお車の使用状況は考慮していません。

・標準燃費と比較してCO2排出量・燃料消費量が削減できなかった場合、「－」と表示されます。

テレマタグイベントにおける「安全運転によるCO2削減量」レポート

テレマタグイベントの開催、誠にありがとうございました。

走行データを用いて算出させていただきました「CO2排出情報」について、本レポートでご報告させていただきます。



算定対象期間：2025/7/1-7/31

算定対象車両：7台

走行距離※1

1011.5
km

燃料消費量
(総量) ※2

53.8 L

安全運転による
燃料節約量 ※3

2.4 L

CO2排出量
(総量) ※2

123.3 kg

安全運転による
CO2削減量 ※3

5.6
kg-CO₂

※1 テレマテックスタグとVisual Driveアプリが接続されている間の走行距離を表しています。各種数値は、テレマテックスタグとVisual Driveアプリが接続されている間の走行データのみを対象に算出しています。
(何らかの理由により走行データが取得できていない場合、取得できていない期間の走行は含まれていません。)

※2 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の独自の算出方法による推定の排出量であり、実際の数値と異なる可能性があります。

※3 ・自動車メーカーが定める「標準燃費」と比較した場合の差分を表しています。(同じ走行距離で平均的な運転を行った場合と比較)

・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の独自の算出方法による推定の節約・削減量であり、実際の数値と異なる可能性があります。あくまで「参考数値」としてご確認ください。

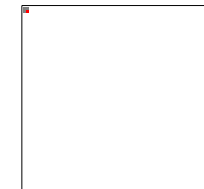
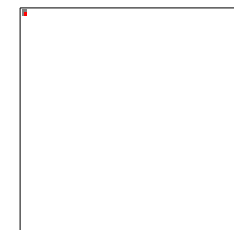
・エアコン等のお車の使用状況は考慮していません。

・標準燃費と比較してCO2排出量・燃料消費量が削減できなかった場合、「－」と表示されます。

テレマタグイベントにおける「安全運転によるCO2削減量」レポート

テレマタグイベントの開催、誠にありがとうございました。

走行データを用いて算出させていただきました「CO2排出情報」について、本レポートでご報告させていただきます。



算定対象期間：2025/7/1-7/31
算定対象車両：4台

3815.2
km

燃料消費量
(総量) ※2

208.7 L

32.9 L

CO2排出量
(総量) ※2

478 kg

安全運転による
CO2削減量 ※3

75.2
kg-CO₂

※1 テレマテックスタグとVisual Driveアプリが接続されている間の走行距離を表しています。各種数値は、テレマテックスタグとVisual Driveアプリが接続されている間の走行データのみを対象に算出しています。
(何らかの理由により走行データが取得できていない場合、取得できていない期間の走行は含まれていません。)

※2 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の独自の算出方法による推定の排出量であり、実際の数値と異なる可能性があります。

※3 ・自動車メーカーが定める「標準燃費」と比較した場合の差分を表しています。(同じ走行距離で平均的な運転を行った場合と比較)

・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の独自の算出方法による推定の節約・削減量であり、実際の数値と異なる可能性があります。あくまで「参考数値」としてご確認ください。

・エアコン等のお車の使用状況は考慮していません。

・標準燃費と比較してCO2排出量・燃料消費量が削減できなかった場合、「－」と表示されます。

報告事項 2 事業進捗について

03_交通安全マップ利用促進WG 具体的な取り組み内容

小学校低学年向けの交通安全学習（案）

イメージ図

たのしく学ぼう！ 交通安全マナーチャレンジ

文部科学省
きみの好き！広場サイト
たのしくまなび
ポータルサイトに
掲載中

「たのしく学ぼう！交通安全マナーチャレンジ」は、
小学校低学年のお子さまを対象とした交通安全学習コンテンツです。
小学校低学年のお子さまは交通事故に巻き込まれるリスクが高いとされています。
地域の将来を担うお子さまたちを交通事故から守るために、
お子さま向けの交通安全学習に本コンテンツをぜひご活用ください。
※年長のお子さまもご利用いただけます。

「たのしく学ぼう！交通安全マナーチャレンジ」の概要
本コンテンツは3つのパートから成り、知識の習得から、主体的に考える力を育むことを狙いとしています。

知ろう
基本的な交通ルールや、絵本仕立ての物語を通じて日常の危険な行動や交通ルール・マナーなどを学ぶことができます。

みにつけよう
交通ルールに関するクイズや、間違い探しを通じて交通ルール・マナーが身に付いたかを確認できます。

やってみよう
地域の危険な箇所が分かる「交通安全マップ」を使ってお子さまご自身で、自宅～避難所までの安全なルートを考える「避難安全マップ」を作成することができます。

こんなシーンで使えます！

学校の課外授業で / 地域のイベントで

（画像はイメージです）

イメージ図

ご利用いただけるもの

教材・避難安全マップ
交通安全に関する学習コンテンツです。「やってみよう」のワークショップで作成する「避難安全マップ」はお子さまがご自宅へお持ち帰りいただけます。

交通安全マップ
テレマティクス自動車保険から得られたビッグデータを基に、地域の交通状況（急ブレーキ多発箇所・走行量）を可視化したマップです。

交通安全動画
教材の内容をカバーしている動画です。講師が説明する代わりに、動画を活用することでも、交通安全について学習できます。

装飾ツール
イベント開催をする際など、パネル等の各種ツールを貸出しています。

※授業での実施やイベント開催に向けた詳細は下記担当者へお問い合わせください。

**「たのしく学ぼう！交通安全マナーチャレンジ」
はこちら ▶▶▶▶▶
専用Webサイト**

**テレマティクス自動車保険に関する情報
はこちら ▶▶▶▶▶
テレマティクスタウン
(Webサイト)**

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
MS&A INSURANCE GROUP
〒150-8488 東京都渋谷区南横町1-39-1
http://www.aioissaiyowa.co.jp/

●ご相談・お問合せ先
0000-0000
電話：000-000-0000 FAX：000-000-0000

報告事項 2 事業進捗について

04_自治会DX

主体者

- 焼津市自治会連合会
- 焼津市

認識している 地域課題

一般的な自治会が抱える課題

- 迅速な情報発信（回覧板 → デジタル化）
- 事務作業の負担感（役員会などの出欠管理）
- 事務作業の引継ぎ（文書のデジタル保管、役員会資料作成テンプレート化）
- 外国人住民への対応（多言語翻訳）



報告事項 2 事業進捗について

04_自治会DX 具体的な取り組み内容

解決策

具体的な活動内容

デジタル化に向けた サービス導入検討



■ 課題ヒアリング・必要機能確認

- ① デジタル化に意欲的な自治会を選定し、ワークショップを行う。
- ② ワークショップの結果を受けて、再度意見集約を行う。

■ 自治会としての方向性を検討

- ① 自治会として「誰も取り残さない」ようにするために、どのような方向性で進めればいいのか検討を行う。
- ② 検討結果を踏まえ、ロードマップの策定を行う。

■ ロードマップの運用

- ① 策定したロードマップを、理事会・連合会と協議し、合意形成を図る。
- ② 策定したロードマップをもとに、計画実施。



04_自治会DX 活動スケジュール

WGのゴール	自治会DXサービスの円滑な導入と活用促進を通じて、自治会業務の効率化を実現し、持続可能な地域運営基盤を構築する。											
中期目標 (マイルストーン)	自治会DX支援パッケージサービスに求める仕様を固め、一部の町内会・組におけるサービスの試験導入を行う。											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
意欲的な自治会の選定、WSの実施	デジタル化に意欲的な自治会を選定 DX化に向けたWS、意向調査を実施(意見集約)											
DX導入の方向性の検討	方向性の検討											
ロードマップの策定	自治会連合会で協議											

報告事項 2 事業進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進

主体者

- 焼津市
- 焼津市商工会議所
- 大井川商工会
- 焼津市社会福祉協議会

認識している 地域課題

- 災害情報のリアルタイム共有と行政の災害対応の迅速化
- 市民の防災意識向上と共助の強化
- 防災情報へのアクセス向上と適切な避難行動の促進



報告事項 2 事業進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進WG 具体的な取り組み内容

解決策

共助による
地域防災体制の推進
(リスクロ、スマートマップ焼
津の活用)



具体的な活動内容

令和 6 年度に、デジタル地図「スマートマップ焼津」とウェザーニューズ社の投稿サービス「リスクロ」を活用し、市職員による冠水情報等の共有を開始した。今後は、市民や地域団体による情報発信体制の整備に取り組み、地域の共助による防災力の向上を目指す。

■ 消防団での運用定着

- ・ 実災害時にスムーズに使用できるように平時からの試験投稿を実施した。
- ・ 「文章」「位置情報」「写真」のスムーズな投稿に繋がった。

■ 投稿者の拡大

- ・ 焼津市消防団、焼津商工会議所、大井川商工会に説明会を実施（6 月～9 月）。リスクロの登録から投稿までを実際に体験。
※社会福祉協議会は10月中に説明会実施予定

■ 次年度に向けた展開準備

- ・ 台風第15号の災害対応時にも多数の投稿（100件）があった。
- ・ 投稿いただいた内容をもとに、振り返りを実施予定。

報告事項 2 事業進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進WG 具体的な取り組み内容

◎台風第15号の災害対応時のスマートマップ焼津表示画面 【1】

令和7年9月5日の台風15号の際は、災害パトロールの情報として、スマートマップ焼津上に合計100件の投稿情報が表示された。

投稿された場所をクリックすると、画像が表示され、災害情報の収集・共有に大いに役立った。



報告事項 2 事業進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進WG 具体的な取り組み内容

◎台風第15号の災害対応時のスマートマップ焼津表示画面 【2】

スマートマップ焼津では、災害パトロール情報のほか、河川水位計や河川・海岸カメラの情報なども重ねて表示することができ、市民はリアルタイムで災害リスクの把握が可能。

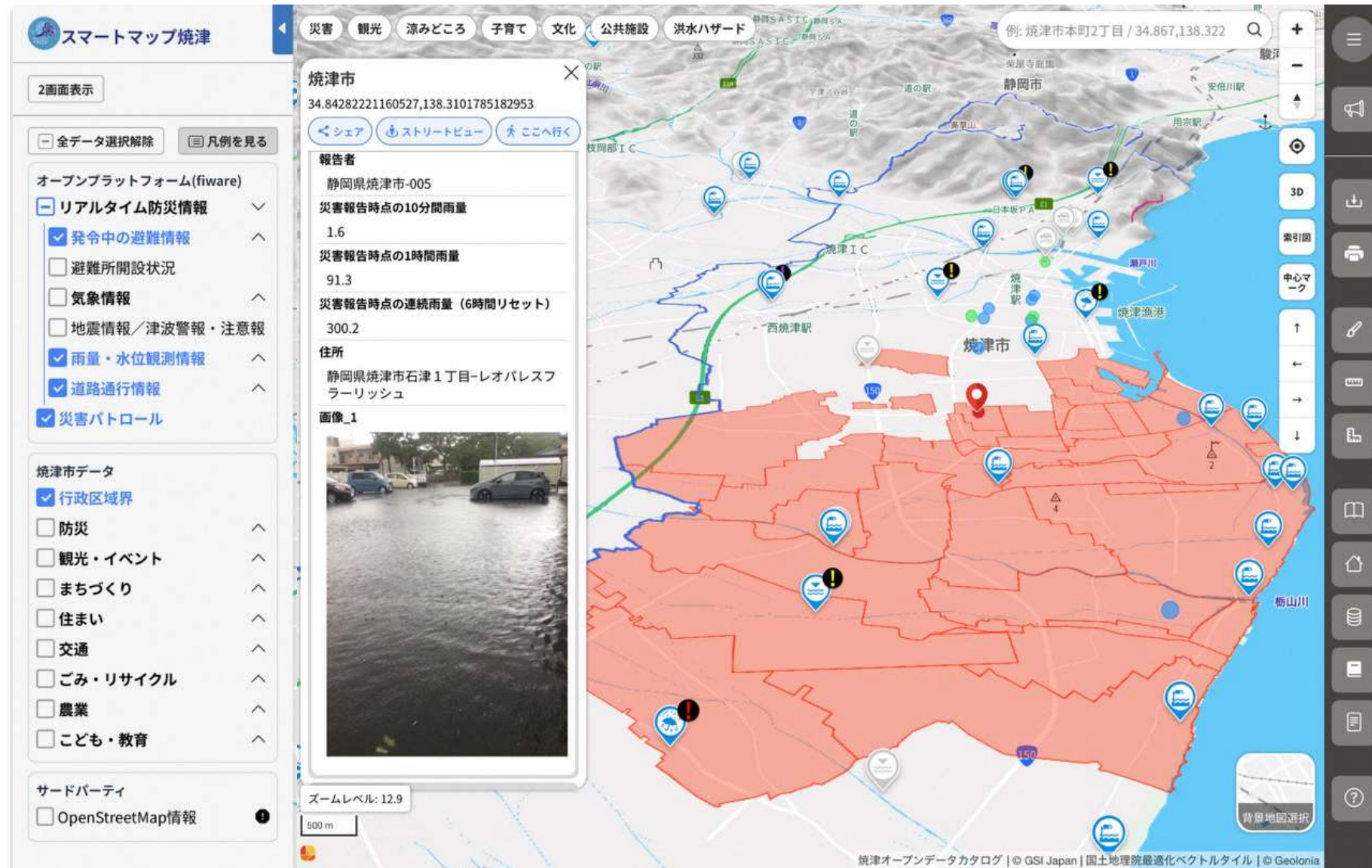


報告事項 2 事業進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進WG 具体的な取り組み内容

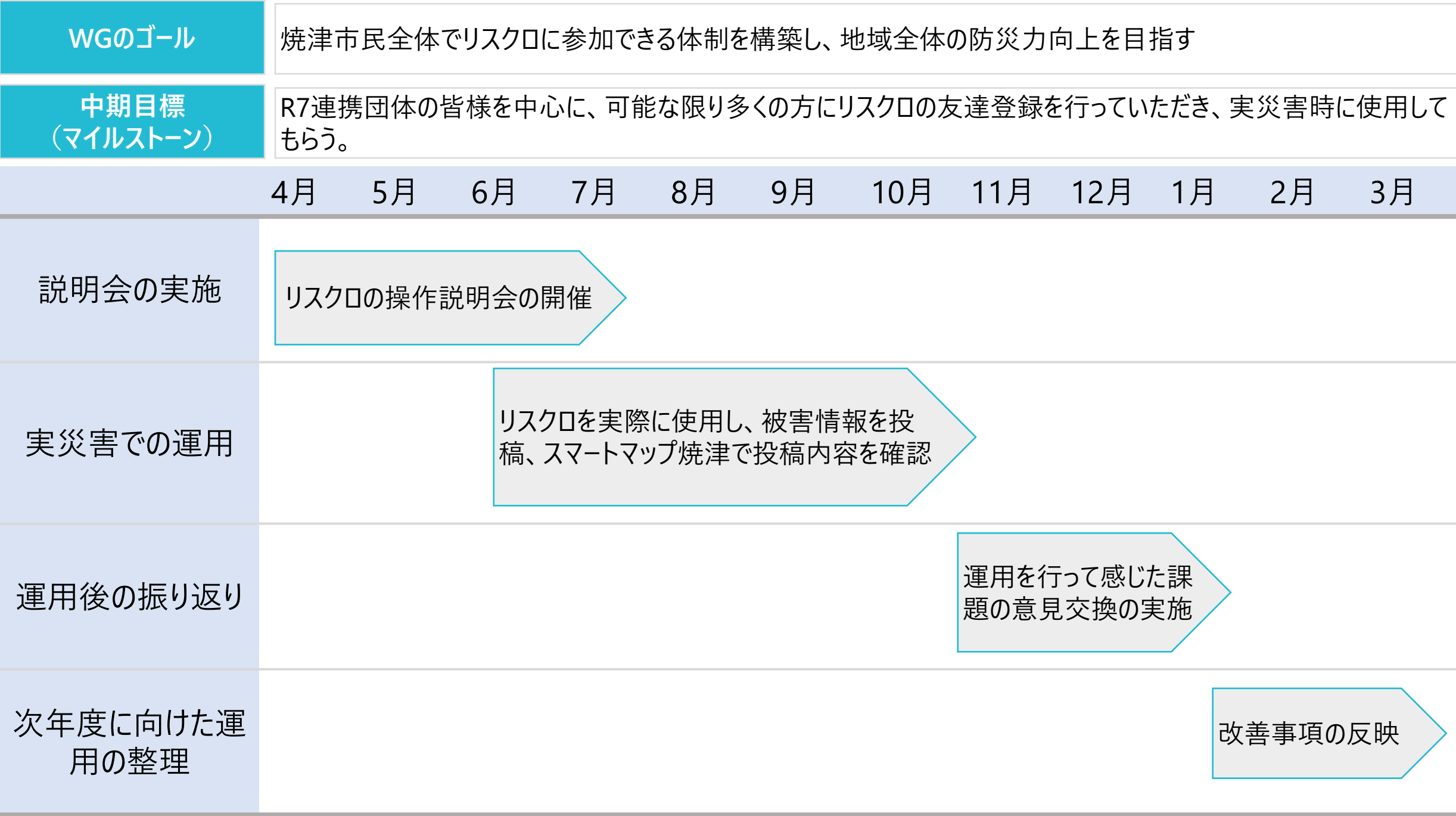
◎台風第15号の災害対応時のスマートマップ焼津表示画面 【3】

この日は、警戒レベル3 高齢者等避難が発令された。スマートマップ焼津では、発令エリアと災害情報の投稿などを重ねることができ、市民に対し、状況に応じた安全確保行動を取るための情報を発信できた。



報告事項 2 事業進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進 活動スケジュール



報告事項 2 事業進捗について

06_地域「健幸」共創W G

主体者

- 焼津市
- 株式会社Wellmira
- 一般社団法人UDCKタウンマネジメント
- 焼津市商工会議所
- 大井川商工会



認識している 地域課題

- 生活習慣病の発症予防と重症化防止
 - ・ 焼津市は同規模自治体と比較して、医療費に占める生活習慣病の割合が高く、加齢による重症化も顕著。
 - ・ 健康寿命を延伸し、市民の幸福度を高めるためには、官民連携による生活習慣病対策が必要。
- 持続可能で、活力ある地域社会の実現
 - ・ 自身の体調不良や親の介護など、健康に起因する就業や社会参加への影響が懸念されている。
 - ・ 市民が健康を維持し、幅広い世代が就業や地域活動に継続して関わることで、地域の活力と持続可能性の向上が期待される。

報告事項 2 事業進捗について

06_地域「健幸」共創W G 具体的な取り組み内容

解決策

体験型健康測定器を活用した健康増進施策の実施



- 市内の小売店舗に、カゴメ社の推定野菜摂取量測定器「ベジチェック」を設置し、来店者が自由に測定できる環境を整備。
- 測定結果は焼津市が導入する健康管理アプリ「カロママプラス」と連携し、登録者にはクーポンやポイントなどの特典を提供。
- 健康意識の向上と店舗への集客を両立し、楽しく継続できる生活習慣病予防のモデルを地域で構築することを目指す。

健康管理アプリを活用した 地元企業の 健康経営®支援



- 焼津市が導入する健康管理アプリ「カロママプラス」を活用し、地元企業の従業員を対象とした健康経営を支援。
- アプリのランキング機能を用いたウォーキング施策などを展開し、職場単位での継続的な健康づくりを促進。
- 職場単位で利用レポートを提供。行動変容の可視化や健康施策のPDCAサイクルの構築を支援。
- データ連携基盤を活用し「カロママプラス」に入力された健診結果などの情報を本人承諾の上で他のサービスと連携。従業員一人ひとりに健康への「気づき」を促す、付加価値の高いサービスを提供。

※健康経営®はN P O 法人健康経営研究会の登録商標です。

報告事項 2 事業進捗について

06_地域「健幸」共創W G 具体的な取り組み内容

10月より「やいづ健幸応援団」制度開始

企業・商店・飲食店等の事業者や団体等の皆様

募集します！

**やいづ健幸
応援団**

「からだの健康づくり」×「こころの豊かさ」×「生きがい」
＝焼津の「健幸」（けんこう）

市民や従業員の健幸づくりを応援していただける、事業者や団体を募集します。
地域全体で、健康で幸せなまちづくりに取り組みませんか？

やいづ健幸応援団って何？

- ◆ やいづ健幸応援団は、令和7年度から焼津市が開始した、市民や従業員の健幸づくりを応援していただける事業者・団体を登録する制度です。
- ◆ 参加にあたっては、4つの活動コースの中から自由に選択いただけます。
- ◆ 登録者の健幸づくりに関する取り組みは、焼津市ホームページ等で広くPRします。
- ◆ 登録者は、健幸づくりに関連する活動に、やいづ健幸応援団のロゴマークを使用することができます。

焼津市 焼津市スマートシティ推進協議会

やいづ健康応援団への登録について

健康マイレージも貯まる！
カロママプラス

4つの活動コース 次のコースから選択して登録してください（複数選択可）

- 1 健康経営実践コース（市内事業者限定）**
従業員の健康づくりに、焼津市が導入した健康管理アプリ「カロママプラス」を利用。平均歩数を競うイベントへの参加、分析レポート、健康Webセミナーが利用可能に。（無料で利用できます）
- 2 やいづ健康マイレージ協賛コース**
市民の健康行動へのインセンティブ提供（協力店への加盟、協賛品の提供）
※協力店への加盟：静岡県「ふじのくに健康いきいきカード協力店」として特典を提供。
※協賛品の提供：健康応援団関連イベント等への景品を提供。
- 3 健康づくり・見える化支援コース**
市民の健康づくりを後押しする場やサービスを提供（計測機器提供、講座実施協力、生活習慣病予防惣菜等の開発・販売等）
※事前に健康づくり課にご相談ください。
- 4 普及・周知支援コース**
健康管理アプリ「カロママプラス」や、健康経営の取り組みなど、健幸応援団の取り組みを市民や市内事業者に広げるための普及・周知活動を実施。

活動開始までの流れ

申込 → 登録 → 活動開始

- ・ 焼津市ホームページ内のフォームから登録申込をしてください。
- ・ 焼津市から登録完了メールが届きます。
- ・ 各コース毎、改めて担当から活動のための具体的な連絡があります。
- ・ 毎年4月30日までに所定のフォームから前年度の活動実績等の報告をお願いします。

焼津市ホームページ
「やいづ健幸応援団を募集します」ページへリンク。申込フォームはページ中段。
<https://www.city.yaizu.lg.jp/health-welfare/health/kenkou-ouendan.html>

報告事項 2 事業進捗について

06_地域「健幸」共創W G 具体的な取り組み内容

やいづ健幸応援団の活動内容（運用要領抜粋）

健康経営実践コース（市内に拠点のある事業者限定）

- ◆ 従業員の健康づくりに、健康管理アプリ「カロママプラス」を活用するコースです。
- ◆ 歩数や食事写真を手軽に記録できるほか、アプリを使って企業同士が歩数や生活習慣の改善成果を競い合う健康イベント「やいづ健康チャレンジ」への参加、社員向けオンデマンド健康講座の利用等を通じて、デジタルを活用して手軽に健康経営に取り組むことができます。
- ◆ アプリの利用料などは市が負担し、参加事業者は無料でサービスを利用できます。

総務・人事担当者向け健康経営実践セミナー

健康経営のすすめ～デジタルの利活用～

対象：市内事業者の総務・人事・健康経営担当者（先着40人）
 日時：10月30日（木） 午後2時～3時
 会場：焼津地域交流センター大集会室

焼津市 令和7年度地域で取り組む 健康・デジタル生活推進事業企画

焼津市 × カロママ プラス

焼津市が支援!

健康経営

はじめませんか?

YAIZU WELLNESS PROJECT

焼津市がご提供

2つの健康施策

参加無料!

従業員向け

やいづ 企業 × 対抗 健康チャレンジ

健康アプリに歩数や食事写真を記録。企業対抗で健康チャレンジする施策です。

- 企業対抗でみんなで楽しく取り組める
- 上位企業は焼津市から表彰

総務・人事のご担当者向け

やいづ 健康経営 実践セミナー

健康経営をDXで手軽にスタートする実践ノウハウをわかりやすく解説。事例紹介もあります!

10/30 14:00~

会場参加&オンラインのハイブリット形式

健康経営を始める3つのメリット

- 生産性アップ! 健康な社員は集中力が高く欠勤も少ないため、日々の業務効率が向上します。
- 人材が定着! 働きやすさを感じてもらえることで、離職率が下がり優秀な人材が長く働いてくれます。
- 信頼が高まる! 健康経営に取り組むことで、「社員を大切にする会社」として取引先や地域からの評価が上がります。

焼津市が採用/ AI健康アプリ「カロママプラス」が健康経営を支援!

健康経営に向けた施策が充実 今回焼津市がご提供する「企業対抗健康チャレンジ」で、手軽に健康施策が実施できます。

従業員の生活習慣の傾向を把握 アプリのデータから、従業員の生活習慣傾向が把握できます。

信頼の導入実績とユーザー成果 導入企業は6,000社以上、改善・効果は75%以上

※1 2023年9月現在 ※2 2ヶ月間継続利用以上、アプリを有効にした企業

報告事項 2 事業進捗について

06_地域「健幸」共創W G 具体的な取り組み内容

やいづ健幸応援団の活動内容（運用要領抜粋）

健康づくり・見える化支援コース

- ◆ 事業者が自主的に、または市と協力して、市民の健康づくりを後押しする場や、サービスを提供するコースです。
- ◆ 健康状態の計測機器の設置や、健康的な食の選択を促す取組など、生活習慣病予防や健康意識の向上につながる活動に取り組んでいただきます。

例えば、
こんな
取り組みを

■ 計測機器の設置

- ・ 店舗の一角に血圧計など、健康状態を計測できる機器を設置し、セルフ計測コーナーとして市民に開放する。
- ・ 測定結果の健康管理アプリへの登録を促し、健康データの見える化をサポートする。

■ 計測機器の設置

- ・ 測定結果の健康管理アプリへの登録を促し、健康データの見える化をサポートする。

■ 市民向け無料健康プログラムの実施

※事前に健康づくり課にご相談ください

- ・ 公共施設等を利用し、市と協力して市民向け健康プログラム・講座を実施する。

■ 健康に配慮した商品のPR・販売促進

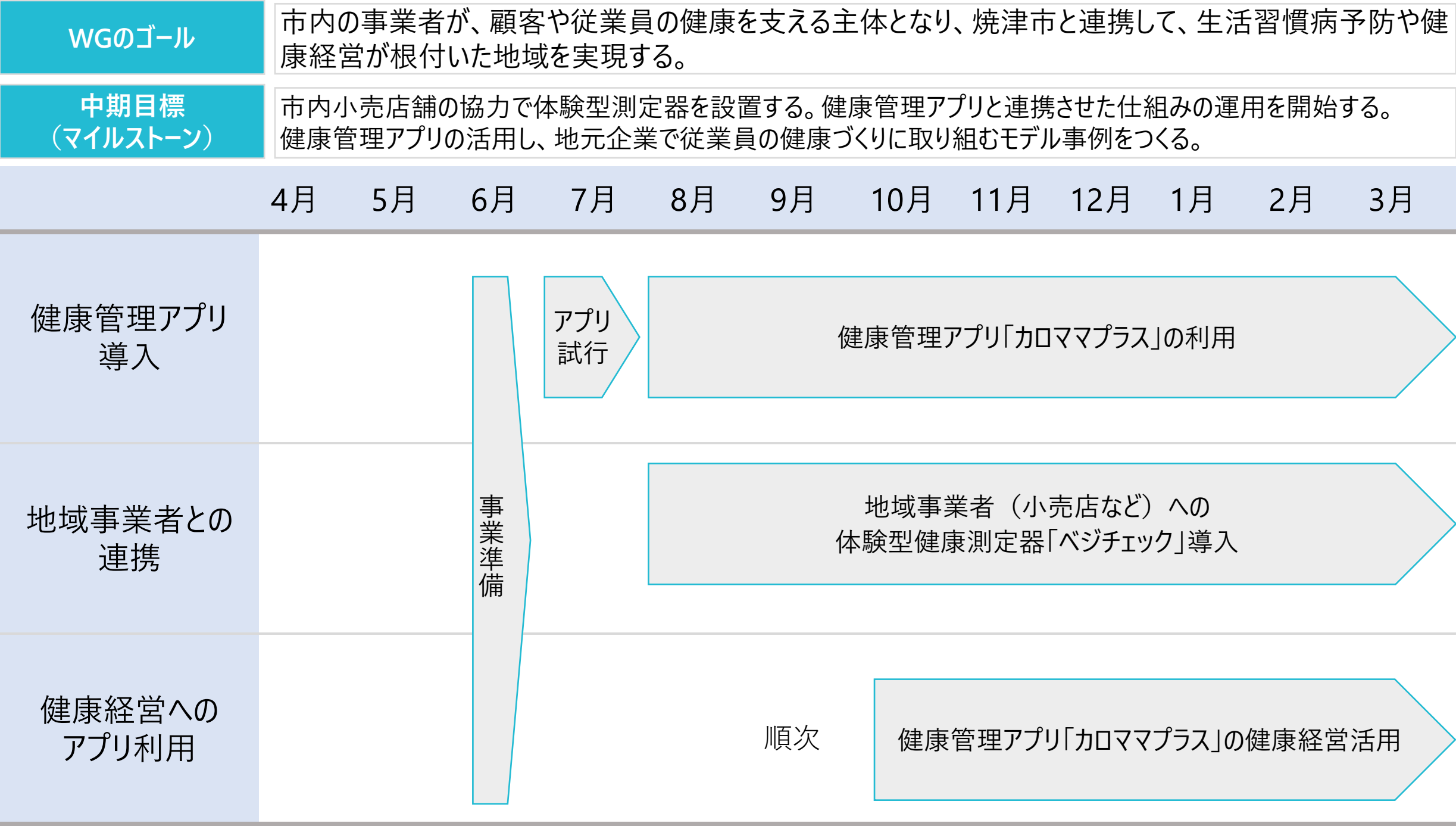
- ・ 生活習慣病予防や栄養バランスに配慮した商品のPRや特売・試食などで市民が手に取りやすい機会をつくる。
- ・ 自社製品や地元食材を活用した「健康レシピ」を作り紹介する。



▲見える化支援として市内小売店の協力で設置した推定野菜摂取量測定器「ベジチェック」

報告事項 2 事業進捗について

06_地域「健幸」共創WG 活動スケジュール



報告事項 3 モニター制度について

報告事項 3 モニター制度について

モニター制度の実施について

スマートシティ推進に関して、市民の皆様の意見を反映させながら、より良いサービスを作っていくことが重要。そのため、協議会（ワーキンググループ）の活動を支える仕組みとして、登録制の市民モニター制度を検討。

趣旨	市民の皆様等に、協議会のワーキンググループ等で検討・実装された新たなサービスを試していただき、使いやすさなどについて意見を収集。サービスの改善に活用していく。
対象	一般市民 （協議会関連事業に参画いただいた方等、関心の高い方を想定）
登録・実施方法	登録・実施ともアンケートフォームを想定
広報	市広報、HP、LINE、イベントなどを活用予定
その他	意見収集の対象：協議会に関係する、地域社会のデジタル化に資する取組を想定。 試行（今年度）：課題解決ワークショップ参加者等に登録依頼。年度内にアンケートを実施予定。

協議事項 R8 事業推進に向けて

協議事項 R8 事業推進に向けて

推進協議会としての取り組み検討の方向性（案）

事務局では、R8以降の持続的な運営に向け、以下のような取り組みを検討しています。

＊あくまで案ベースで、事業検討の方向性確認として記載しており、次年度実施を確約するものではありません。

進捗管理 ・ 活動支援

■各WGへのヒアリングと進捗状況の把握 【継続：WG進捗管理】

- ・ 定期的に各WGの活動内容や進捗を確認し、取組状況を的確に把握。
- ・ 活動の重複や停滞を防ぎ、必要なサポートを迅速に行える体制を整える。

■課題解決に向けた助言や関係者との橋渡し 【継続：WG活動支援】

- ・ 各WGが抱える課題に対して、事務局が適切にアドバイスを行い、関係部署や外部関係者との調整・連携を支援する。
- ・ 必要に応じて専門的な知見を提供し、各WGの取組が円滑に進むようサポートする。

■スマートシティ推進に係る情報発信・情報共有 【継続：情報発信】

- ・ 各WGの取組内容や成果、成功事例の情報共有を強化。
- ・ メールによる発信や、WEBサイト等を活用し、会員間の協働を促進する。
- ・ モニター制度を本運用し、市民意見を定期的に収集し、実証やサービス改善に活用します。

協議事項 R8 事業推進に向けて

推進協議会としての取り組み検討の方向性（案）

活動支援

■ワーキンググループ組成前の「事業の種」づくり 【継続：地域課題解決WS】

- ・ 会員だけでなく、関心のある市民や団体も交え、地域課題を共有・整理するワークショップを開催。
- ・ 対話を通じて課題を明確にし、それぞれの立場でできることを言語化することで、新たなWG立ち上げにつながる「事業の種」を育てる。
- ・ R8年度は、4 回程度のワークショップ開催に加え、Slack等を活用して参加者間の意見交換を継続し、議論の深化と協働の輪を広げる。

■地域事業者向け、デジタル相談窓口の設置 【新規】

- ・ ワーキンググループの活動を含む、地域事業者の課題を整理し、活用可能な支援メニューやデジタルツール等を提示する「地域事業者のデジタル相談窓口」を設置する。
- ・ 単なるパッケージサービスの紹介にとどまらず、これまで市が実施してきたノーコードツールの伴走支援の実績等も踏まえながら、事業者の状況に応じた最適な改善策と一緒に検討する。

< 背景 >

- ・ 地域事業者DX推進ワーキンググループでの議論や、これまでの事業者からの相談内容などから、AI活用、営業・人材採用・育成などの戦略的分野への関心が高い一方で、実際には「デジタルに詳しい社員がおらず、どこから何を始めればよいか分からない」といった声が多く聞かれる。
- ・ 本取組は、地域事業者が抱える人手不足や生産性向上などの課題に対し、DXを手段として解決を図るものであり、スマートシティ推進協議会の取組の一つとして位置付け、検討を進める。

閉会